



Miura city council news

# みうら市議会だより

2021.5.1 第145号



- 令和3年度予算成立
- 議会の会議規則等を改正
- 公共下水道施設の運営権を民間に設定するための実施方針に関する条例を審議



総務経済

◎専決処分の承認を求めることについて（令和二年度三浦市一般会計補正予算（第八号））

本案は、農業者緊急経済対策交付金事業の予算について専決処分したものです。

**質問** 申請書の配付方法と最終的な交付人数は。

**答弁** 申請書は農協から配付し、農業者には事業所に訪れた際や個別訪問で配付した。交付人数は、六百三十三名だった。

◎三浦市部設置条例の一部を改正する条例

本案は、市民部の事務分掌である統計及び情報化の推進を政策部に移管するものです。

**質問** 統計情報課をデジタル課として政策部に移管する効果は。

**答弁** データを活用した企画立案、デジタル化による業務改善等が考えられる。

◎三浦市職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例

本案は、国家公務員の長時間労働の是正措置に準じて必要な措置を講ずるものです。

**質問** 時間外勤務に関する規定を整備することによる効果は。

**答弁** 健康面での好影響や、業務量の平準化、業務の効率化が考えられる。

◎三浦市三崎水産物地方卸売市場条例の一部を改正する条例

本案は、前処理施設及び製氷施設に係る使用料を定めるものです。

**質問** 前処理施設は以前より狭くなるが、作業に支障は生じないか。

**答弁** 事前に使用者と協議を行い、機器の配置や動線を検討してきている。

◎三浦市企業等立地促進条例の一部を改正する条例

本案は、城山地区事業用地を対象地域に追加するほか、立地期限を延長

するものです。

**質問** 二町谷立地では段階的に事業展開がされるが、支援措置の仕方は。

**答弁** 立地ごとに個別に協議をしていきたい。

◎令和二年度三浦市一般会計補正予算（第九号）

本補正は、歳入歳出それぞれ二億二千九百二十七万一千円を追加するものです。

**質問** 特別定額給付金事業について、補正の内容と給付の結果は。

**答弁** 事業の終了に伴い、委託料や交付金等を減額する。四十二億六千二百

九十万円の給付を行った。

◎令和二年度三浦市市場事業特別会計補正予算（第二号）

本補正は、歳入歳出それぞれ二億二千二百二十七万五千円を減額するものです。

**質問** 市場施設管理費の減額理由は。

**答弁** 電気料金や水道料金の減少、入札差金などにより減額となった。

都市厚生

◎三浦市生産緑地地区の区域の規模に関する条件を定める条例

本案は、生産緑地地区に指定できる面積要件を三百平方メートル以上と定めるものです。

**質問** 都市計画マスタープランにおける生産緑地地区の位置づけを伺う。

**答弁** 市街化区域内における農地等の持つ多様な機能を維持するために指定を継続することが位置づけられている。

◎三浦市公共下水道（東部処理区）施設の公共施設等運営権に係る実施方針に関する条例

本案は、公共下水道の公共施設等運営権に係る実施方針に関し、必要な事項を定めるものです。

**質問** コンセクション事業を実施した場合の利用料金の決定・改定についてお聞きしたい。

**答弁** 利用料金は、事業者から提案を受け、市が定める。料金を改定する場合は、下水道条例の改正が必要である。

◎三浦市奨学金条例の一部を改正する条例

本案は、貸付奨学金を廃止し、給付奨学金の額を変更するものです。

**質問** 条例改正後の奨学金の対象者数を伺う。

**答弁** 人数を増やして予算要求をしたい。支給人数は現在の四名から十名に増やしても、奨学金の原資である基金は長く活用できる試算である。



◎三浦市国民健康保険税条例の一部を改正する条例

本案は、国民健康保険税の基礎課税額等の税率及び税額の改定等を行うものです。

**質問** 国保税の改定率と市の増収額を伺う。

**答弁** 平均改定率四・五五%、保険料収入五千五百万円増となる。

**意見** コロナ禍で、保険料の据置き・引下げをしている自治体がある中、増税になる改正には反対する。

◎三浦市介護保険条例の一部を改正する条例

本案は、令和三年度から五年度までの介護保険料率を定めるほか、規定の整備を行うものです。

**質問** 保険料見直しに当たり、充てた基金の額が、四億九千万円あるうちの一億五千万円だった理由は。

**答弁** 今年度に基金を取り崩す予定があることと、保険給付費が伸びた場合の備えである。

◎三浦市指定地域密着型サービスに関する基準を定める条例等の一部を改正する条例

本案は、指定地域密着型サービスの基準等の改

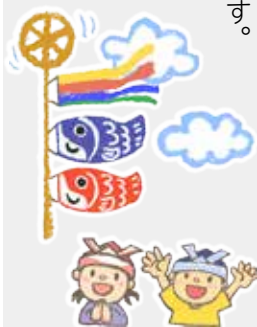
# 新たに提出された陳情

◎「七十五歳以上医療費窓口負担二割化にしないことの見解書」の提出を求める陳情書

**趣旨** 本陳情は、後期高齢者の医療費窓口負担二割化は受診抑制を引き起こし、高齢者の暮らしと健康に大きな影響を及ぼすことから、国に表題の見解書を提出するよう求めています。  
(同じ題名・内容の陳情が2件提出されました)

◎三浦市学校教育ビジョンの白紙撤回についての陳情書

**趣旨** 本陳情は、学校教育ビジョンについて、市内の学校教育全般を考えた政策でないことなどから、白紙に戻して新たなビジョンを作成するよう、議会から市に要望することを求めています。



## 請願書・陳情書の提出について

◇市政についての要望などを、請願・陳情として市議会に提出することができます。

●提出者の氏名の書き方が、署名または記名押印に変わりました。  
(改正に関しては十六ページに)

・署名 名…本人が手書きで氏名を書くこと  
・記名押印…印刷などで氏名を記載し、印鑑を押すこと  
(記載例)

〇〇についての請願(陳情)書

請願(陳情)の趣旨  
請願(陳情)の理由

令和 年 月 日  
三浦市議会議長 様

住所 〇〇〇〇  
氏名 〇〇〇〇  
(署名または記名押印)

◇請願は紹介議員が必要です。  
◇提出者は、付託された委員会に出席して趣旨説明ができます。(前日までの申し出が必要です)  
◇詳しい提出方法は、三浦市議会ウェブサイトをご覧ください



◎令和二年度三浦市病院事業会計補正予算(第一号)



本補正は、収益的収入及び収益的支出の予定額をそれぞれ二千七百九十六万四千円追加するものです。

**質問** 職員手当の具体的な内容について伺う。

**答弁** 新型コロナウイルス感染症患者への対応に伴う防疫作業手当と時間外勤務手当である。

**質問** 新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い受診が控えられ、医療費が下がったためである。

◎令和二年度三浦市介護保険事業特別会計補正予算(第三号)

本補正は、歳入歳出それぞれ六万三千円を追加するものです。  
(質疑は特にありませんでした)

**質問** 議決後の市道の路線数と総延長は。

**答弁** 路線数は二千九百三十八路線に、総延長は四十九万九千四百五十七・五メートルになる。

◎事務の委託の廃止に関する協議について

◎事務の受託の廃止に関する協議について

以上二件は、ごみの広域処理に向けた施設整備の終了に伴うものです。

**質問** 各施設の整備事業は、当初の予定どおり進められたのか。

**答弁** 生ごみ資源化施設を設置予定だったものが可燃ごみの焼却施設となり、各施設の稼働時期が変更されるなど、幾つか変更が生じた。



# 予算審査特別委員会の審査から

## 一部抜粋

令和三年度の一般会計、企業会計を含む特別会計の予算議案は、七人の委員で構成する予算審査特別委員会で五日間にわたり審査を行いました。

### 総括質疑

#### 市政全般にわたり市長に質疑

**質問** 令和三年度予算編成の基本的な考え方について伺う。

**答弁** いかにも市民サービスを向上させるか、また、扶助費への対応は他市に劣後しないように取り組んでいる。福祉や社会保障をきちんと行い、経済対策は国の財源も視野に入れて取り組みたい。

**質問** 市税収入が一億八千万円減少していることについて伺う。

**答弁** コロナ禍の経済状況を反映して検討した。プラスになる要素はなく、

### 一般会計

#### 歳入

実際はもっと減るのではないかと思うが、そうならないように経済対策等に取り組みたい。

**質問** 雇用創出に結び付ける施策について伺う。

**答弁** 農業・漁業・観光業が盛んであるという強みを生かし、滞在型の形にすることで観光業を産業化して雇用を創出した。

**質問** 三浦市水道ビジョンに基づく水道料金改定について考え方を伺う。

**答弁** 水道の広域化に取り組む上では経営努力も必要であり、将来的な値上げを想定した財政計画にしている。市民生活に影響するものなので、議論していきたい。

#### 歳出

個人市民税が減少した要因について

地方交付税が減少した要因について

**質問** 法人市民税が減少した理由を。

**答弁** 大型店舗による増加分も見込んだが、税制改正の影響や、コロナ禍における所得減少に伴う減少がより大きかった。

#### 歳出

##### 総務費

- ・市職員の執務状況の把握と定員管理について
- ・みうらっ子応援プロジェクトによるトイレの洋式化について
- ・みうら市民まつり開催

時の交通渋滞対策について



##### 民生費

- ・避難行動要支援者名簿の活用について
- ・児童虐待防止の体制づくりについて

**意見** 民生委員・児童委員の欠員が続いているので、定数や選出方法の見直しなど、抜本的な対策を検討してほしい。

##### 衛生費

- ・マイナポータルによる健康情報等の管理について
- ・妊婦健診時のタクシー代補助について
- ・ごみダイエット大作戦の取組について

##### 農林水産業費

- ・農業者の育成・支援について

・二町谷地区の汚水処理施設の改修について

**質問** 間口漁港で駐車場を整備することによる効果は。

**答弁** 収益が入り、地元の漁業者が自らの意思で新たな事業展開ができることを目的としている。

##### 商工費

- ・みうらシティ・セールス事業の内容と達成目標について
- ・新設する「もてなし課」について
- ・海水浴場を開設しない海岸への対応について



##### 土木費

- ・急傾斜地の指定と崩壊対策工事の実施予定について
- ・通学路の安全対策につ

いて  
沈砂池の計画的なしゅんせつについて

##### 消防費

- ・更新する化学車の配備先について
- ・コロナ禍における避難所態勢について
- ・高潮浸水想定ハザードマップの作成について



##### 教育費

- ・SDGsの理念を取り入れた授業について
- ・トイレの改修について

**質問** 小中学生の就学援助事業はさらに拡充すべきではないか。

**答弁** 教育の機会均等のための重要な制度だと認識している。来年度は支給対象基準を広げ、一歩前進した。

○公債費

・今後の元金償還額と健全化判断比率の見直しについて

特別会計

国民健康保険事業

・特定健診の受診率向上策について  
・保険税率引上げによる増収額について

**質問** 人間ドック受診の現状と受診数を増やす方策を伺う。

**答弁** コロナ禍の影響で今年度の申込数は減少している。三年度からは受診費用を一万七千円に引き下げる。

後期高齢者医療事業

・前年度繰越金見込み額の増加について

介護保険事業

・介護予防の推進について

・地域包括支援センターの配置について  
・保険料改定による全体の値上げ額について

市場事業

・貸し事務室の使用状況

について

・水揚船誘致のトップセールスについて

**質問** 三崎の市場に魚を集め、ブランド化していくための方策をお聞きたい。

**答弁** 高度衛生化した市場に水揚げを集められるように、機能性のある水を提供できるようにするためのことなど、三崎に水揚げするメリットを周知していきたい。



第三セクター等改革推進債償還事業

・現在の起債残高について

企業会計

病院事業

・患者数の実態と見込み

について

・マイナンバーカード利用への対応について

**質問** 機器類や施設の整備予定について伺う。

**答弁** マンモグラフィ、全身麻酔機等を整備し、自動火災報知機や非常用照明バッテリーの更新などを行う。

水道事業

・老朽管更新の予定箇所について  
・有収率を上げるための取組について

・水道料金改定に関する市民への説明について

公共下水道事業

・コンセッション方式による事業開始に向けたスケジュールについて  
・使用料収入が減少している理由について

意見

公共下水道事業へのコンセッション方式導入は、市が責任を持って公共下水道事業を行っていかれるか疑問である。

※コンセッション方式：料金収入がある公共施設の事業運営において、市

が所有権を有したまま民間事業者が施設を利用して事業を行う手法

討論

賛成

反対

◇一般会計予算に対する討論を抜粋しました。

反対討論

○小林直樹委員

市民サービス低下の防止、職員の健康管理のため、適切な職員採用を行うこと。

就学援助制度は、学用品費等の支給額を国基準にすること、支給対象世帯の基準引上げを求める。

賛成討論

○長島満理子委員

新型コロナウイルス感染症の影響で市税収入の減少が見込まれるが、積極的な徴収強化策を期待する。

落ち込んだ経済への支援や集客促進などに努め、さらなるシティ・セルスの発展に期待する。

○鈴木敏史委員

予算編成に当たり、財源対策検討委員会での検討し、五億五千万円の増収・削減効果が出たことは評価できる。

子育て賃貸住宅等整備事業や移住促進事業などの人口減少抑制対策の取組に期待する。

予算審査特別委員会

- 委員長 神田眞弓
- 副委員長 満川幸二
- 委員 蓮本一朗
- 委員 鈴木敏史
- 委員 長島満理子
- 委員 出口正雄
- 委員 小林直樹

令和3年度 各会計予算総括表

※金額は1万円未満を切り捨て

会計区分	令和3年度	令和2年度	比較	伸率(%)	
一般会計	171億5,551万円	166億5,785万円	4億9,765万円	3.0	
特別会計	国民健康保険事業	58億540万円	60億9,506万円	△2億8,965万円	△4.8
	後期高齢者医療事業	8億7,211万円	8億5,757万円	1,453万円	1.7
	介護保険事業	54億7,355万円	51億9,755万円	2億7,599万円	5.3
	市場事業	3億1,586万円	7億8,482万円	△4億6,896万円	△59.8
	第三セクター等改革推進債償還事業	2億6,494万円	76億6,358万円	△73億9,863万円	△96.5
	企業会計	33億6,499万円	33億3,200万円	3,298万円	1.0
水道事業	20億559万円	20億1,073万円	△514万円	△0.3	
公共下水道事業	19億8,560万円	18億2,579万円	1億5,981万円	8.8	

# 本会議における討論

議案第17号 令和3年度三浦市一般会計予算



## 反対討論

日本共産党 小林 直樹

三浦市の職員数は定数より二百九名少ないが、職員数を抑えることで市民サービスを低下させてはならない。また、職員の健康管理も重要である。

公共施設等総合管理計画では、公共施設の床面積総量を四割以上も削減

## 賛成討論

自由民主党 出口 正雄

令和三年度予算は、持続可能な市政運営を行うため、身の丈財政を基本に、質の高い市民サービスと住みよい環境の提供のための予算編成となっている。

歳入は、市税や税外債権の積極的な徴収により収納率の向上を目指し

## 賛成討論

公明・みうらクラブ 清川 幸二

令和三年度の予算編成に当たり、財源対策検討委員会で事業効果の見極めなどを行った結果、増収・削減効果額は約五億五千万円となり、その取組は一定の評価ができる。

また、デジタル課やもてなし課を新設して、行政機能の高効率化を図

減することを目標にしている。公共施設の削減は市民生活に大きな影響を与えるので、市民の意見を聞き、やみくもに計画を押し進めるべきではない。

新型コロナウイルス感染症の影響で、観光や水産業等の地域経済は大変な状況になっている。無駄のない、住民本位の行財政運営で、市民の生活と営業を守ることを求める。

ている。税負担の公平性の観点から、さらなる努力を求めたい。

歳出では、新型コロナウイルスワクチン接種や、みうらっ子応援プロジェクトによる子供のための環境整備、観光振興などへの取組に期待する。

よりよい市民生活のために取り組む、子供たちの夢や未来をサポートできるよう、行政に望む。

る取組には期待できる。

新型コロナウイルス感染症による市民生活への影響が懸念される。ワクチン接種や市民への情報提供など、市民の健康と生命、生活を守るため、感染防止、医療体制の強化及び各種支援に全力で取り組むことを求める。三年度も、市民の声に耳を傾け、市民の安全・安心と生活向上が図れるあったかい市政運営を期待する。



## 人事

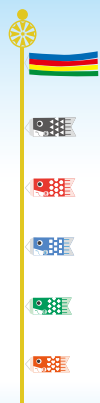
市長から、次の方々を公平委員会委員及び固定資産評価審査委員会委員として選任するための議案が提出され、原案のとおり同意することに決しました。

### 公平委員会委員

山下 和 男 氏

### 固定資産評価審査委員会委員

松原 隆 文 氏



市長から、次の方々を人権擁護委員として法務大臣に推薦することについて意見を求める諮問が提出され、異議なき旨、答申しました。

### 人権擁護委員

仁 藤 千枝里 氏  
曾 根 崇 子 氏

# 本会議での議案等の審議結果

## 《全員賛成で議決した議案》

<p><b>【議案】</b></p> <p>第1号 専決処分の承認を求めることについて</p> <p>第2号 三浦市生産緑地地区の区域の規模に関する条件を定める条例</p> <p>第4号 三浦市部設置条例の一部を改正する条例</p> <p>第5号 三浦市職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例</p> <p>第6号 三浦市奨学金条例の一部を改正する条例</p> <p>第9号 三浦市指定地域密着型サービスに関する基準を定める条例等の一部を改正する条例</p> <p>第10号 三浦市三崎水産物地方卸売市場条例の一部を改正する条例</p> <p>第11号 三浦市企業等立地促進条例の一部を改正する条例</p> <p>第12号 令和2年度三浦市一般会計補正予算（第9号）</p> <p>第13号 令和2年度三浦市国民健康保険事業特別会計補正予算（第3号）</p> <p>第14号 令和2年度三浦市介護保険事業特別会計補正予算（第3号）</p>	<p>第15号 令和2年度三浦市市場事業特別会計補正予算（第2号）</p> <p>第16号 令和2年度三浦市病院事業会計補正予算（第1号）</p> <p>第21号 令和3年度三浦市市場事業特別会計予算</p> <p>第23号 令和3年度三浦市病院事業会計予算</p> <p>第24号 令和3年度三浦市水道事業会計予算</p> <p>第26号 市道路線の認定、廃止及び変更について</p> <p>第27号 事務の委託の廃止に関する協議について</p> <p>第28号 事務の受託の廃止に関する協議について</p> <p>第29号 公平委員会委員の選任につき同意を求めることについて</p> <p>第30号 固定資産評価審査委員会委員の選任につき同意を求めることについて</p> <p><b>【諮問】</b></p> <p>第1号 人権擁護委員の推薦について</p> <p><b>【委員会提出議案】</b></p> <p>第1号 三浦市議会会議規則の一部を改正する規則</p>
---	--

## 《賛否が分かれた議案》 ○賛成 ●反対

※ 議長は表決に加わらない

番号	件名	審議結果	自由民主党				公明・みうらクラブ			日本共産党		無所属	
			草間道治	長島満理子	出口正雄	神田眞弓	出口眞琴	溝川幸二	鈴木敏史	藤田昇	石橋むつみ	小林直樹	蓮本一朗
【議案】第3号	三浦市公共下水道（東部処理区）施設の公共施設等運営権に係る実施方針に関する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○
第7号	三浦市国民健康保険税条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○
第8号	三浦市介護保険条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○
第17号	令和3年度三浦市一般会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○
第18号	令和3年度三浦市国民健康保険事業特別会計予算	可決	※	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○
第19号	令和3年度三浦市後期高齢者医療事業特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○
第20号	令和3年度三浦市介護保険事業特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○
第22号	令和3年度三浦市第三セクター等改革推進債償還事業特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○
第25号	令和3年度三浦市公共下水道事業会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○

# 一般質問 質問と答弁の要旨

一般質問とは、市政全般にわたって報告や説明を求めたり、疑問をたずくことをいいます。第1回定例会では、11人の議員が市政運営について市側の考えをたずきました。



## 南の市民センター

国保税のコロナ減免・市立病院

日本共産党 石橋むつみ



南下浦市民センター  
画面の奥が図書館・講堂など

**質問** 南下浦市民センターに代わる、三浦の環境や歴史にも配慮した、子育て賃貸住宅・公民館・図書館・市役所出張所の複合施設の事業が進められている。今後の予定と、事業に関わる市の役割・事業者の役割とはなにかについて問う。

**総務部長** 来年二月に民間事業者選定の予定である。事業者は供用開始後も市のモニタリングの下に維持管理業務などを行う。

**教育部長** 工事期間中、社会教育講座は場所を変えて継続、図書館は一時的な閉館を考えている。

**市民部長** 南下浦出張所は工事期間中も、駅周辺に臨時施設を用意し出張所機能を継続したい。

**質問** 三浦市の国保加入世帯所得二百万円以下は

七割を超える。国保税の

コロナ減免の状況を伺う。

**保健福祉部長** 市民から

の納付相談で対象の可能性があれば減免申請を勧めている。二月末時点で、延べ百二十五人、減免額は二千七百万円である。

**質問** 新型コロナウイルス感染症発生から一年を超えた。三浦市の医療体制を問う。

また受診抑制、患者や家族のメンタルへの影響、医者のかかり方・病院への行き方に変化が見えるかと考えるが対応は？

**病院事務局長** 市医師会

と連携協調し発症診断等を行うほか、鎌倉保健福祉事務所三崎センターとは感染状況の把握・病床調整をしている。神奈川モデルの重点医療機関を支援する協力病院としての役割も担っている。

あらかじめ発熱外来でコロナ検査を実施し陰性を確認した後に院内に導くトリアージ対応などで減少していた外来患者が戻りつつある。

一月末で前年対比、健診は一七・五％減、人間ドック二四・二％減、がん検診一五・四％減、その分早期発見、早期治療が叶わなかったと考える。次年度は積極的に健診・ドックなどを進める。

二月から始めたりモニター面会「スマホでエール」は喜ばれている。

感染防止対策の徹底、良質な医療の提供に努め、地域で生活していくための資源等をフル活用する地域包括ケアを基軸にする。





## コロナと選挙ほか

海水温上昇被害・空き家対応

無所属 蓮本 一朗

**質問** 新型コロナウイルス感染症対応と六月の選挙の対応について伺う。

**市長** 市で行う様々な事業や窓口業務は、緊急事態宣言解除後も感染防止対策を十分に継続して行っていく。終息宣言が出るまできちんとした感染症対応をしていきたい。

**選挙管理委員会事務局長** 他の自治体の感染症対策を参考にしながら、本市選挙で対策を実施する。

**質問** 本市周辺沿岸海域での海水温上昇による沿岸漁業への影響と方策について伺う。

**水産担当部長** 平成二年以降日本周辺海域での海水の水温上昇が市内漁業者の水揚げに影響を与えていると考えられる。

相模湾周辺での磯焼け現象もアイゴなどの南方

系生物の海藻類の食害によるものであり、サザエやアワビなどの漁場が損なわれ漁獲が減少している。またワカメ養殖では水温上昇で出荷時期の遅れや品質の低下などの影響が出ている。

漁獲の減少に対する方策と漁獲が増加した魚種に対する方策が国・県で立てられている。本市では磯焼けの原因となる有害生物の駆除活動を行う水産多面的機能発揮対策事業に取り組み市内の漁業者等に対して国・県と共に補助金による支援を行っている。種苗放流事業への補助金と併せて、漁場環境の保全と水産資源の増殖による漁業経営支援を行っている。

**質問** 空き家の状況と対応について伺う。

都市環境部長 平成二十七年に空き家実態調査を実施した際に二百八十七件を空き家と判断した。その後増減があり、令和三年二月末現在三百七十九件を空き家として把握している。危険度に応じてAからDまでの四段階に区分しており、最も危険なDランクの空き家は三十二件。Dランク空き家は、剥落した外壁が隣地に落下したり、害虫やタヌキ等が住み着いたりして周辺住環境に悪影響を及ぼしていることから、所有者等に対して対応を求めるなど指導に努めている。

所有者等に対して対応を求めるなど指導に努めている。



空き家であっても、所有者は管理する責任があります。

都市環境部長 平成二十七年に空き家実態調査を実施した際に二百八十七件を空き家と判断した。その後増減があり、令和三年二月末現在三百七十九件を空き家として把握している。危険度に応じてAからDまでの四段階に区分しており、最も危険なDランクの空き家は三十二件。Dランク空き家は、剥落した外壁が隣地に落下したり、害虫やタヌキ等が住み着いたりして周辺住環境に悪影響を及ぼしていることから、所有者等に対して対応を求めるなど指導に努めている。

## 地域経済活性化

移住定住促進・子育て賃貸住宅

自由民主党 長島満理子

**質問** 三浦市に住む若年層が三浦市の魅力を再認識することにより、転出抑制も目的とした新たな移住定住促進冊子を作成し、移住に興味を持った方を対象に、移住に向けた講座の開催を検討している。市内でも、トライアルステイや先輩移住者が移住支援を行い、成果を上げている話も聞く。

神奈川県でも市町村と連携し移住定住の促進に取り組んでいるが、三浦市はどのように連携をしているのか伺う。

**政策部長** 神奈川県とは、平成二十七年から連携し移住施策に取り組んでいる。ふるさと回帰支援センターで行われる神奈川県主催の移住セミナーに参加している。令和二年度はオンラインの移住セミナーとなったが、

二月までに二回のセミナーに参加し、参加者は二十組、うち八組と個別相談を実施している。三月十三日に神奈川県と共催で市単独セミナーをオンラインで予定している。

**質問** 子育て賃貸住宅等整備事業の目的は、子育て世代の転入促進、転出抑制を図るため、南下浦市民センター用地に市民センター、図書館及び出張所を併設した子育て賃貸住宅を整備するものである。子育てしやすい環境、機能が求められている。入居者、地域住民で子育て支援ができるような環境が理想であるが、建物内外において求められる考えを伺う。

**総務部長** 新たに整備される施設の内部は、南下浦市民センター及び図書館の整備のほか、事業者

提案エリアの整備が含まれる。施設の外部は、適切な配置計画により広場等を求めることにしている。建物の内部、外部において展開される事業や整備により、入居者や地域住民が気軽に集え、新しいコミュニティが形成される場となるほか、子育て世帯に寄与する機能の整備や事業が展開する提案に期待している。

**質問** 今後の追加経済対策の可能性について、市長の考えをお聞きする。

**市長** 新型コロナウイルス感染症拡大により、飲食店をはじめ地域経済は大変な打撃を受けていると認識している。今後の新型コロナウイルス感染症状況や市内の経済状況を勘案しつつ、タイムリーで効果のある支援策を適切に判断してまいりたい。



三浦市移住定住冊子



生活困窮者等・福祉施策  
公明・みうらクラブ 溝川 幸二

### 障がい者就労支援

#### 障がい者の就労支援

**質問** 障がい者への就労支援をどう考えるか？

**保健福祉部長** 就労を希望する障がい者に対し、

希望や障がいの状況を相談支援の中で把握し、就労系の障害福祉サービス利用につなげ、よこすか就労援助センター、ハローワークとの連携により、就労に向けた支援を行う必要があると考える。

**質問** 農林水産省が推進する農福連携では、農業と福祉を連携させ、障がい者の社会進出を後押しするということだが、三浦市の基幹産業である農業と福祉を連携させる取組を、どう考えるか？

**保健福祉部長** 三浦市では、農業を中心に就労継続支援を行う事業所がいくつかある。今後、農福連携での事業化を希望する

法人が出た場合、できる限り支援を行っていきたいと考える。

**質問** 農福連携は、障がい者の就労だけでなく、農家の生産力向上等にもつながる可能性があるのでは、取り組んでいってほしい。今後の課題は？

**保健福祉部長** 障がい者の就労は、徐々に進んでいる。今後は、一旦就労した障がい者がいかに就労を継続していくかが重要。就労定着支援といった障害福祉サービスの利用や、よこすか就労援助センターとの一層の連携により障害者就労継続支援を行っていききたい。



就労継続支援B型事業所 カフェ・ブルーシズ

### 生活困窮者等・福祉施策

**質問** 新型コロナウイルスの影響により生活が困窮してきている状況が見えてきている。生活資金を支援するだけでなく、就労支援や食糧支援等様々な支援や援助が必要かと思うが、市はどのように考えているか。

**市長** 生活困窮者への就労支援は、生活困窮者自立相談支援業務の中で実施されている。緊急の場合には福祉課窓口で食糧支援等も行っている。他に、新型コロナウイルスの影響により支給対象範囲が拡大された同居確保給付金の給付による支援を行っている。新型コロナウイルスの影響による生活困窮者に対し、

国・県の制度を利用して支援する必要があると考える。

**要望** 新型コロナウイルスの影響はいつまで続くかわからないが、今後さらなる支援が必要になる。関係団体とも連携して支援につなげていただきたい。



三崎漁港の振興、介護の充実  
日本共産党 小林 直樹

### 学校教育ビジョン

#### 学校教育ビジョン

**質問** 令和七年度に市内八小学校を三校にしてしまつ内容である。

一度に五校廃校にするのは、あまりにも乱暴な計画だと思つ。

三崎地区では、三崎・岬陽・名向小学校が一枚に、南下浦地区では剣崎・南下浦・上宮田・旭小学校が一枚になる。

統廃合することで学区が広くなり、長距離通学になる。多くの保護者の方が不安を感じている。スクールバス、専用バスの運行などの検討は進んでいるのか？

**教育部長** どのような通学手段を取る必要があるか協議を行っている。今後、提示する考えである。

**質問** いつまでに検討結果をまとめるのか？  
**教育部長** 令和三年度中

を目標にしている。保護者の皆様が一番不安に思っているところ認識している。

**質問** 今よりも通学に要する金額が増額になった場合、増額分を全額補助するのか？

**教育部長** 通学距離が長くなるために増加する保護者の金銭的負担については、何らかの手立てが必要だと考えている。

**質問** 名向小学校と三崎小学校の存続を求める陳情が提出されているが、それでも五校の廃校を進めるのか？

**教育部長** 署名は、子どものこと、地域のこと、学校への思いなど真剣に考えていると考える。保護者や市民の皆様が大事に思つ心を否定するものではない。やみくもに計画どおりに突き進めるといった考えは持っていない。



三浦市立三崎小学校

#### 三崎漁港の振興

**質問** 漁港機能を集約して漁業生産や市場流通を機能的に配置することが必要だが、検討をしているのか？

**市長** 来年度、水産庁が次期の特定漁港漁場整備計画を策定する予定であり、協議をしながら検討を進めていく。

**高齢者介護の充実**  
**質問** 全国的に介護事業所の倒産や介護従事者の離職があると聞いているが、市内では、どのような状況か？

**保健福祉部長** 倒産した事業所はない。国は、介護職員の処遇改善や人材確保に注力している。



## 観光振興

テレワークの推進

無所属 寺田 一樹

**質問** 新型コロナの拡大以降、来遊客の落ち込みが激しく、観光産業を中心に市内経済は大打撃を受けていたと感じるが、現状について伺う。

況、市内の経済状況などあらゆる事情を勘案して適切に判断していく。国の状況等もきちんと把握し、効果的なものを検討していきたい。

**市長** 令和二年は、一年を通じて、地域の経済活動そのものが大きな打撃を受け、停滞した。新型コロナの収束が見通せない中、今後もしばらくは厳しい状況が続くものと認識している。

**質問** 下町地区の駐車場不足は大きな課題である。民間の取組になるが、オーナーが、空いている駐車場や土地を登録するだけで駐車場として貸し出すことのできるサービスがある。駐車場対策の一つの有効な手段と考えるが、行政としてはどう考えているのか尋ねる。

**市長** 今後の経済対策については、新型コロナの感染状況や感染対策の状



駐車場へ向かう車列

## 経済部長

この取組については、地域活性化に関する包括連携協定を締結している。三浦商工会議所と連携しながら活用に向けた取組を進めている。

**質問** テレワークに取組む企業が増えてきているが、このような世の中の流れをどのように感じているのか伺う。

**市長** テレワーク勤務により、地方へ移住することに関心が高まっている傾向がある。三浦市は、都心から近いこともあって選択肢の一つと考える。今後も時代に即した移住促進策に取組んでいく。

**質問** 三浦市役所においては、現在テレワークを実施できる環境にないとのことだが、今後導入されるAIなどの運用により、テレワーク等の分散勤務も可能になると考えられる。市ではどのように考えているのか尋ねる。

**市長** テレワークの導入など、様々な対応を今後着実に講じていきたい。



## 城山地区利活用

下町の駐車場対策

自由民主党 出口 正雄

**質問** 令和三年度では、城山地区利活用事業の事業者募集を実施、契約候補者を選定し協議を開始するとしている。今後の状況が三浦市の将来を左右すると思うが、慎重かつ丁寧な説明を住民の皆様にする必要がある。生活環境を破壊しない計画づくりが必要である。住民に歓迎される開発を進めることを望むが、市長の考えを聞く。

**市長** 城山地区の事業用地は、関係人口の創出や観光客の滞在時間の延長、消費額の拡大に資する、経済的機能の導入を目指している。三崎港や下町地区に近い立地を生かし、短期から長期滞在の宿泊ニーズにも対応可能な施設や機能の整備などを想定している。企業誘致施策も二町谷地区埋立地と

同様にすることなどを政策会議で決定している。令和三年度内に契約候補者選定、基本協定の締結の協議を開始したい。事業者募集では地域住民や地域の事業者との連携に配慮した事業内容を審査項目に盛り込むことを考え、地域の皆様にはしっかりと説明を行っていく。

**質問** 三崎下町地区では駐車場不足に伴う渋滞が発生している。駐車場の確保は喫緊の課題である。



城山地区

**市長** 恒久的な駐車場の確保は物理的に大変難しい状況である。三崎漁港ブランドデザインの策定に当たり、課題として検討していく。令和三年度のアクションプランの検討と並行して新たな駐車場の確保について検討していく考えである。

令和三年度事業では三崎漁港ブランドデザインの検討と並行して駐車スペースの確保の検討、県との協議で連休時などの渋滞対策として、臨時駐車場を確保するとしている。併せて、恒久的な駐車場の確保対策を聞く。

**経済部長** 三崎下町地区では二町谷地区を臨時駐車場として活用したが、売却完了に伴い新たな臨時駐車場の確保の調整をしている。現在はうらりマルシェ先の水産物集配施設周辺を臨時駐車場として使用している。今後も東部漁港事務所の協力で使用する考えである。

**市長** 恒久的な駐車場の確保は物理的に大変難しい状況である。三崎漁港ブランドデザインの策定に当たり、課題として検討していく。令和三年度のアクションプランの検討と並行して新たな駐車場の確保について検討していく考えである。



# 三浦のビジョン

三浦の水道と学校教育について

公明・みうらクラブ 鈴木 敏史

**質問** 三浦市水道ビジョンでは、市民生活への過度な影響を避け、経営の安定化を図る、その上で三浦ならではの地域性と広域的な視点を考慮した独自の三浦市水道ビジョンと定めている。その方針について聞く。



三浦水道発祥の石碑

**質問** 学校教育ビジョンでは、令和七年度までの小学校入学者の予測がされている。令和三年度の入学予定数と、ビジョン策定以降に出生した、令和八年度、令和九年度入学者の児童数を聞く。

**教育部長** 三崎地区は令和三年度六十五名、八年度四十二名、九年度四十六名。南下浦地区は令和三年度九十一名、八年度六十八名、九年度六十名。初声地区は令和三年度八十二名、八年度五十二名、九年度三十名である。なお、二月現在の数であり、令和九年度の数には、三月に出生する児童数が加

わる。  
**質問** 統合候補校の決定は、地域の意見を尊重した検討を願う。正確な認識や情報なくして、今後の学校体制変更への市民協力は得られないと私は思う。通学路の安全確保策について、現段階の案で、方策を聞く。

**教育部長** 運行できるバス路線がある場合には、路線バスを十分に活用したい考えである。通学時間の短縮のために、運行経路の変更も含めてバス事業者と相談する。また、専用バスの所有運行も検討している。下校児童対策として、放課後子ども教室の実施も地域との連携を深めるためにも検討すべきと考える。

**要望** 説明会については学校ごとではなく、フルー参加の説明会や、自治会ごとに保護者説明会を開くなど、何度でも実施する必要があると感じたので、ぜひ検討をお願いする。



# あったかいまち

子供を産み育てたくなるまち

自由民主党 神田 眞弓

**質問** 養殖活魚による水産業の振興  
コロナ禍で、新しい生活様式が浸透したことへの対応として需要が高まった養殖活魚について、増産体制を取ることや新規参入を受け入れることで新しいビジネスチャンスを拡大させることも、三浦市の経済活性化に寄与するのではないかと



三崎の養殖施設

**市長** 三崎における養殖活魚の出荷は伸びており、農業、漁業、観光業など主要な産業が影響を受ける中で、養殖業は一つの有力な業態である。関連産業へ波及効果が期待でき、海上の養殖施設自体が観光スポットや体験学習の場として活用できるなど、様々な経済効果がある。こうした状況を踏まえ、蓄養をさらに増やすことや新規進出につい

でも、できる限り必要な支援を検討したい。

**質問** 福祉と教育  
福祉政策と教育政策は、次代の三浦を担う子供たちにとって切れ目なく連携して提供されるべきものである。市では検討会議の設置や機構改革で成果が出ていることは評価する。国では新たに子ども家庭庁の設置が提言され、医療や教育、福祉などの分野で子供施策を一元的に推進する省庁が実現する可能性がある。こ

の流れ、動きに乗り遅れることなく、三浦市でも子供関連部署が一元化されるべきである。  
**市長** 子ども課創設による事務の集約を行ってから八年が経過する。一体化させる組織改編を行った自治体もあるので、今後、一元化の効果について情報収集をしたい。

**質問** 学校教育ビジョン  
市民の間には、まだまだ小学校の統廃合という未知の世界に対する疑問や不安が根強いのも事実である。不安や疑問が多いほど、親切丁寧な説明が求められる。多くの保護者、市民が納得した形で小学校の統廃合という重要な問題、課題は進められていくべきである。  
**教育長** これからの三浦市にふさわしい学校の在り方を協議し、小学校適正配置案に必要な通学手段などの行政支援を示して、保護者の皆様の意見を再度丁寧かつ慎重に聞いて進めたい。

# 市のSDGs推進

エネルギーの地産地消の推進

公明・みづらクラブ 藤田 昇



**質問** 令和元年第四回定例会で、市のSDGsの取組について実施計画に目標を明示し、SDGsの推進を提案。令和三年度からの後期実施計画にSDGsの目標を明示していただいた事は、高く評価する。総合計画に明記することの効果について、今までの総合計画とは異なり、どのような効果が生まれると考えるのか、市長のお考えを伺う。

**市長** SDGsの目標というものは、世界中の全ての国の人々が取り組むべきものであると認識している。SDGsの目標を明示することによって、三浦市として国際社会と共に持続可能な社会の実現を目指すことを改めて表明できたことは、大きな効果であると考ええる。

**質問** 炭素排出実質ゼロを目指すに当たり、三方が海面に面している本市にとって、海域での二酸化炭素の吸収、吸着は大きな助けになると思うが、今後、ブルーカーボン事業（海藻や藻類などの海の生物が光合成でCO2を吸収すること）を子供たちをはじめ多くの市民の参加を促す等、漁業のまち三浦の特性を生かした取組の推進を提案するが、市長のご所見を伺う。

**市長** おっしゃるよう三浦市が海に面している三浦市にとって非常に大きな可能性を秘めたものであると認識している。三浦市もブルーカーボンを効果的に活用できるように準備を進めていきたいと思う。水産都市として必要な事柄でもあり、神奈川県とも連携をしながら



再生可能エネルギー・太陽光発電

進めていきたいと思う。  
**質問** エネルギーの地産地消は、脱炭素社会への貢献、地域内循環経済の促進といった観点のみならず、災害時のリスク分散にも効果が期待できる。三浦市においても、再生可能エネルギーの施設誘致を図ることや民間活力の導入で地域電力会社を立ち上げる等、エネルギーの地産地消を図っていくことが有効と考えるが、市長のご所見を伺う。

**市長** 再生可能エネルギーを生み出す施設を誘致、創出し、その施設で発電された電力を市内で使用することは、ゼロカーボンシティを宣言した三浦市にとって非常に有効である。

# 水道事業について

環境対策について

自由民主党 出口 眞琴



**質問** 資金不足が見込まれている水道事業は、令和三年度も料金改定を行わず、一般会計からの程度補填するのか。

**上下水道部長** 令和三年度一般会計補助金の予算額は二億三千百二十一万円となっている。

**質問** 一般会計の補助金が令和三年度で終了するが、補助金に代わるものとして料金改定について伺う。

**上下水道部長** 一般会計補助金に代わるものとして、令和四年度からの水道料金の値上げによる増収で試算をしている。三浦市上下水道事業審議会に諮り、改定率を決定する。

**質問** 県営水道との統合について、県と連携して課題整理等の検討状況について伺う。

**上下水道部長** (仮称)

**市長** 県との連携を進め、首長懇談会や新たな検討会が設置されるので、そこで県営水道との統合の要望や課題の整理を進めていく。

**質問** 「ゼロカーボンシティみづら」の宣言を市長はどのような思いで行ったのか伺う。

**市長** 喫緊の課題となっている地球温暖化対策に取り組み意思を内外に強く示すため令和二年五月に「ゼロカーボンシティみづら」を宣言した。

**質問** 一般廃棄物最終処分場での太陽光発電導入の検討について伺う。

**都市環境部長** 宮川の処分場跡地の地上に設置することも含めて可能性を検討している。

**質問** レジ袋の有料化がスタートしたことに伴い、市内のマイバッグの普及について伺う。

**都市環境部長** マイバッグの普及についてはかなり浸透してきた。市民が海洋プラスチックの環境問題などを考える機会となるよう啓発を行う。



ecoマイバッグ

# 7月定例会日程案

令和3年第2回定例会は、次の日程により開かれる予定です。

月 日	曜日	会 議 名 等
7月2日	金	招集告示
6日	火	議会運営委員会（日程・審議方法等決定）
9日	金	本会議（一般質問）
12日	月	本会議（一般質問）
13日	火	本会議（一般質問）
		決算審査特別委員会
14日	水	総務経済常任委員会
15日	木	都市厚生常任委員会
20日	火	本会議（委員長報告・採決）



令和3年第2回定例会は、6月に市長・補欠議員選挙が行われるため、7月に招集されます。

三浦市議会  
ウェブサイトは  
こちらから⇒



議会インターネット中継のほか、議員の紹介や議案の審議結果など、議会に関する様々な情報を掲載しています。

※今定例会で審査する請願・陳情の提出期限は7月5日(月)です。

## 広告募集

### 「みうら市議会だより」に 広告を掲載しませんか?!

- ◇議会だよりは多くの皆さんにご覧いただいています。
- ◇配布、配架先
  - ・市内各世帯（およそ17,500世帯）
  - ・市役所、市民センター、市立病院、駅など
- ◇発行回数：年4回
- ◇広告規格及び掲載料
  - 例：縦4.2cm×横6.3cm
  - 1回につき
    - ・カラーページ 12,500円
    - ・単色ページ 9,500円



※詳細は、議会ウェブサイト内の募集ページをご覧ください！

## 表紙写真の紹介

議長の草間です。  
今回の写真は、四月一日に完成した複合式大型遊具です。  
潮風スポーツ公園の林間広場（多目的グラウンド北側の丘陵地）に新たに設置されたもので、カラフルな色合いの三基の遊具は子供たちが見ただけで喜ぶことと思います。広場は、それぞれの遊具で三つのゾーンに分けられています。

三歳～六歳が対象の幼児ゾーンと、六歳～十二歳を対象とした児童ゾーン、その中央に六歳～十二歳向けのバランススクライムゾーンがあります。バランススクライムゾーンの登ったり下がりたりできる遊具は、潮風スポーツ公園にちなんで運動要素を取り入れているそうです。  
これら三基の遊具がバランスよく丘陵地に設置されており、たくさんのお子・児童が楽しんでくれることでしょう。また、幅広い世代の憩いの場になることと思います。



建設費用は約千七百四十八万円。そのすべてがふるさと納税（みうらっ子応援プロジェクト）の寄附によって賄われています。

みうらっ子応援プロジェクトに寄附をされた方々に感謝申し上げます。

# 議会災害等対策本部

## 新型コロナウイルスに対する議会の対応

議会災害等対策本部の活動を報告します。

### \* 活動記録 \*

#### 一月八日

◎市の対応について報告を受けた。

- ・国の緊急事態宣言再発出に関する件

①国の宣言を受けて神奈川県が策定した措置方針について

②県の措置方針に基づく市の対応（イベント実施の見直し、公共施設の利用時間など）について

◎ICTに関する検討委員会で予定していた逗子市議会への視察について延期を決定した。

#### 二月十二日

◎市の対応について報告を受けた。

- ・新型コロナウイルスワクチン接種体制に関する検討状況について

◎三月定例会の運営方法等について協議した。

- ・一般質問では、新型コロナウイルスに関連する質問は各会派一人までとする

#### 二月二十四日

◎市の対応について報告を受けた。

- ・新型コロナウイルスワクチン接種に関し、現時点で想定している日程・会場等について

#### 三月二十三日

◎市の対応について報告を受けた。

- ・国の緊急事態宣言解除に伴う市の取組方針の変更について
- ・新型コロナウイルスワクチン接種に関する現在の状況について

◎次回定例会に向けて対応を協議した。

- ・請願、陳情を持参できない場合、申出があれば、郵送も持参と同様の扱いとする

新型コロナウイルス感染症の拡大防止に関する要請書を提出

三浦市議会から、次の内容についての要請書を市長へ提出しました。

◇一日も早く市民が安全・安心な日常生活を送ることができるよう、新型コロナウイルスワクチン接種に対する特段の取組を要望する。

◇ワクチン接種に携わる医療従事者に対し、他の市町村との格差のない十分な手当てがなされるよう要望する。



議長・副議長から市長に手渡しました

## 委員会の審査から

市議会では、今後の学校教育の目標が定められた「三浦市学校教育ビジョン」について活発な議論が交わされています。

定例会の中では、一般質問や常任委員会、予算審査特別委員会で行い上げられました。

第一回定例会では、ビジョンの撤回を求める陳情が提出され、都市厚生常任委員会で審査を行いました。

審査の中では、小中学校への大容量インターネット回線の整備方針などに関する質疑が行われましたが、担当職員からの答弁が十分ではなく、委員等に誤解が生じる結果となりました。

また、委員会での質疑に対しては陳情者から議長に質問状が提出されることとなり、協議の結果、

再度委員会を開き、引き続き陳情の審査を行いました。

委員会では、改めて明確な説明を行うよう求め、担当職員から詳細な説明がされるとともに、教育長からは、陳情審査や過去に開催した総合教育会議での説明が十分ではなかったこと、今後は誤解を招かないよう、より注意深い説明を心がけることが述べられました。

また、教育長の発言に対して草間議長が、今後開催する教育ビジョンの説明会や地域協議会なども含め、慎重かつ丁寧に説明を行うよう要請しました。



# 市民に身近な 議会を目指して

## 会議規則と陳情書処理規程を改正

さまざまな住民が市議会議員として活動しやすいように、欠席の事由を具体的に定めるものです。

本会議と委員会の欠席事由を「公務、疾病、育児、看護、介護、出産、配偶者の出産補助その他のやむを得ない事由」と具体的に定めました。

また、出席のため出席できない場合は、出席予定日前後の期間も含めてあらかじめ届出ができることとしました。



### 改正のポイント2

定例会最終日(三月二十二日)に、三浦市議会会議規則と陳情書処理規程を改正しました。

これは定例会中に議会運営委員会と協議を行ってきたもので、会議規則は委員会提出議案として改正案を提出し、本会議で可決、陳情書処理規程は議会運営委員長からの申し出に基づき、議長が改正の処理を行いました。



### 改正のポイント1

本会議、委員会の欠席……会議規則を改正

請願書・陳情書への押印の見直し……会議規則、陳情書処理規程を改正

デジタル化政策を推進する一環として国が押印の廃止を進めていることから、地方議会でも見直しを行うものです。

請願書・陳情書の提出者には必ず押印をお願いしていましたが、これを「署名または記名押印」に変更しました。

※「署名」と「記名押印」の違い  
請願書・陳情書の具体的な提出方法は、三ページに掲載しています。



## 地域経済の活性化について 意見書が提出されました

新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言が延長されたことに伴い、三浦商工会議所青年部と実施を予定していた議会報告会が中止になりました。

このため、意見交換をする予定だった「コロナ禍における地域経済の活性化」について、商工会議所青年部から意見書が提出されました。



意見書では、瞬発的な経済効果を発揮する事業

として住宅リフォーム助成事業とみうらブルメチケットが挙げられ、事業をより効果的にするため提案がされています。

議会からの回答書は、草間議長が商工会議所に伺い、青年部次期会長に手渡しました。



住宅リフォーム助成事業については、事業の継続と制度拡充を求めていること、みうらブルメチケットについては、新たな経済対策を講じる際に多くの方が効果を実感できると等々を回答しました。

## 編集委員コラム

編集委員

石橋むつみ

一人でも多くの方に身近に感じて貰いたいと、議会だよりの意匠を変えて一年。コロナ対策と並走の二周目です。

行政をチエックする目、住民福祉の向上を紡ぐ手、地域を歩く足、提言をする口。議会の役割どれ一つ、コロナ禍を口実に鈍らせてはなりません。

議会だよりは全日程のほんの抄録。詳しい記録は図書館やネットで見る他、お近くの議員に聞いてみるのも一法ですよ。

### 議会だより

#### 編集委員会

委員長 草間 道治

副委員長 藤田 昇

委員 蓮本 一朗

委員 石橋むつみ

委員 溝川 幸二

委員 出口 正雄